

生きる力 つちかかって

古いアパートで運営していた「そよ風文庫」には長年かけてそろえた本が3000冊ほどあり、約1500人の子どもが利用していました。阪神大震災で部屋の



壁が崩れ、床に落ちた本は土にまみれました。建物も半壊認定を受け、休止せざるを得ませんでした。

「何かできることを」と、本の読み聞かせのため避難所へ通いました。「おおきなかぶ」「はらぺこあおむ

地域文庫「そよ風文庫」世話人

安達みのりさん(74) 一大阪府豊中市



東日本大震災で被災した子どもたちに児童図書を贈る「いっしょだよ」キャンペーンを実施しています。新しい本の購入に充てる寄

付金を募っています。被災地の図書館や学校、保育所などに贈ります。

郵便振替による送金をお願いします。本の寄付は受け付けていません。振替口座は毎日新聞大阪社会事業団(00970・9・12891)。通信欄に「子どもの本」、匿名を希望される方は「匿名希望」と明記してください。問い合わせは財団法人大阪国際児童文学館「東日本大震災『いっしょだよ』キャンペーン」事務局(06・6744・0581)へ。

主催 (財)大阪国際児童文学館、大阪府書店商業組合、毎日新聞社、毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団

し」「三びきのやぎのからがらどん」……。子どもたちは目を輝かせて聞いてくれました。震災の翌年、毎日新聞社などが主催した「児童図書を贈る運動」でいただいた

約50冊や、無事だった本をもとに文庫を再開できました。子どもは本の世界にすっと入って登場人物と遊び、現実の世界と行き来しながら、人間の幅を広げます。被災した子どもには本で少しでも生きる力をつちかってほしいと思います。【聞き手・反橋希美】